

**製品名: PUMA ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16691**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BBC3
別名	BBC3; PUMA; Bcl-2-binding component 3; JFY-1; p53 up-regulated modulator of apoptosis
遺伝子 ID	27113.0
SwissProt ID	Q9BXH1
免疫原	抗血清はヒト PUMA 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 120-169

**背景**

この遺伝子は BCL-2 ファミリータンパク質のメンバーをコードします。このファミリーメンバーは BH3 のみを活性化するアポトーシス促進サブクラスに属します。このタンパク質は直接活性化タンパク質と共存し、ミトコンドリア外膜透過性とアポトーシスを誘導

します。また、抗アポトーシス性 Bcl-2 ファミリーメンバーと結合し、ミトコンドリア機能不全とカスパーゼ活性化を誘導します。この遺伝子はアポトーシス促進作用を持つことから、がん治療および組織損傷に対する潜在的な薬剤標的となっています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2011 年 12 月],機能: p53 依存性および p53 非依存性アポトーシスの必須メディエーター。誘導: DNA 損傷、グルココルチコイド処理、成長因子枯渇、および p53 による。類似性: Bcl-2 ファミリーに属する。細胞内局在: シトクロム c の放出を誘導するためにミトコンドリアに局在する。サブユニット: MCL1 および BCL2A1 と相互作用する (類似性による)。BCL2 および BCL2L1/BCL-XL と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現する。

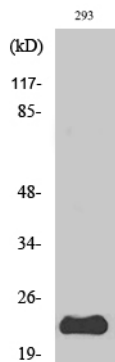
## 研究分野

p53;ハンチントン病;

## 画像データ



PUMA 抗体を使用して、EGF 処理した 293 細胞の溶解物のウェスタンプロット分析。



PUMA ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンプロット分析